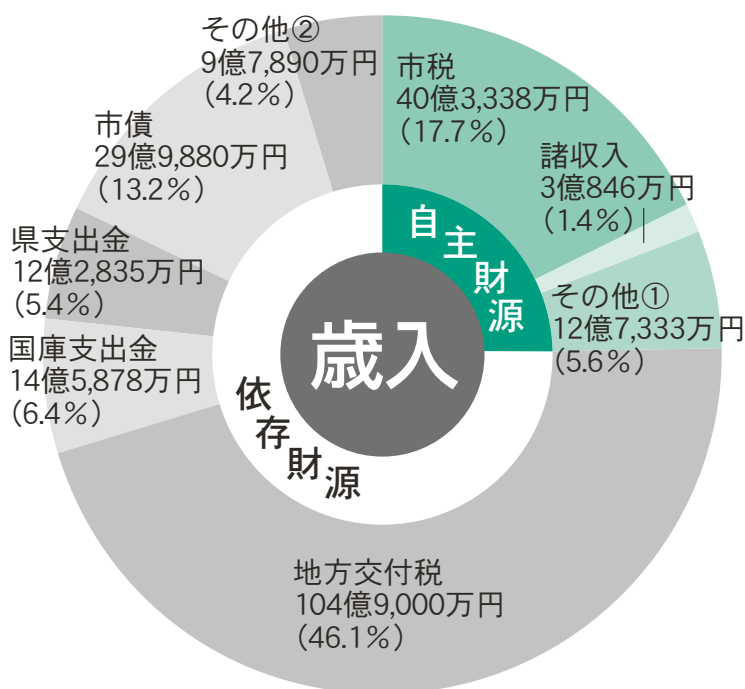


一般会計

227億7,000万円

(前年比 3.7%増)



① その他の自主財源

分担金・負担金	2億3,049万円 (1.0%)
使用料・手数料	3億8,998万円 (1.7%)
財産収入	8,496万円 (0.4%)
寄附金	152万円 (0.0%)
繰入金	5億6,638万円 (2.5%)
繰越金	0.1万円 (0.0%)

② その他の依存財源

地方譲与税	3億6,730万円 (1.6%)
利子割交付金	2,500万円 (0.1%)
配当割交付金	1,400万円 (0.1%)
株式等譲渡所得割交付金	1,050万円 (0.0%)
地方消費税交付金	3億5,600万円 (1.5%)
ゴルフ場利用税交付金	1,570万円 (0.1%)
自動車取得税交付金	1億4,640万円 (0.6%)
地方特例交付金	3,600万円 (0.2%)
交通安全対策特別交付金	800万円 (0.0%)

農林業の振興では、本市の特産品であるピーネ、トマトなどの産地化を進めるため、農業協同組合と連携した生産農家への支援や認定農業者を中心とした集落営農組織の育成・強化に取り組むほか、農業振興センター（川上町）の設備整備により、新規作物のブランド化を図ります。また、農業基盤整備では、土地改良事業、農林道整備など

活力と魅力のある
まちづくり

特徴と主な事業

「少子化・子育て支援・医療対策」「交流促進・文化振興」「学園文化都市づくり」に重点

予算

平成20年度

平成20年度予算は、一般会計が227億7,000万円（前年比3.7%増）、特別会計が149億1,108万円（前年比23.6%減）、総額で376億8,108万円（前年比9.1%減）となりました。

総合計画、過疎計画等に基づき、行財政改革大綱および財政健全化計画との整合性を図りながら、計画的な事業推進と将来を見据えた持続可能な財政運営を基本に予算編成を行いました。

なお、平成20年度末の地方債残高の見込みは356億6,230万円で、平成19年度末に比べ約11億2,000万円減額となる見込みです。

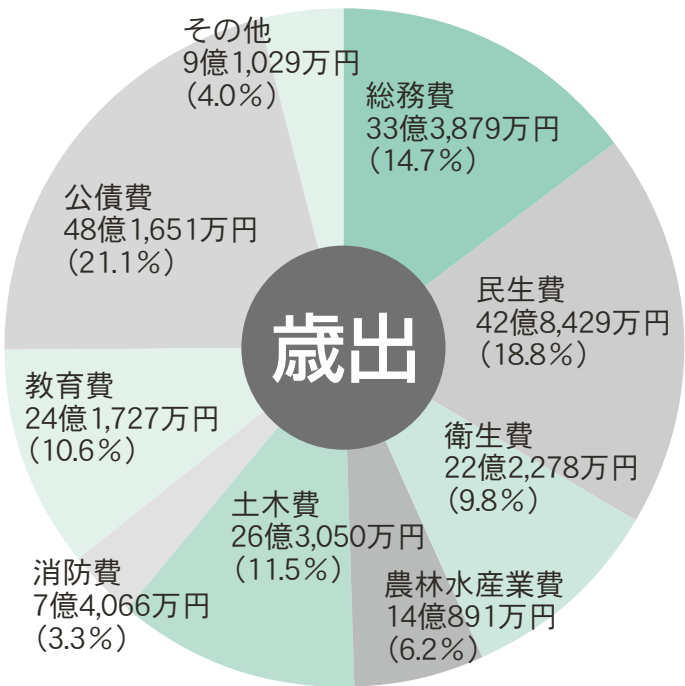
その他の歳出

議会費	2億1,458万円 (0.9%)
労働費	5,987万円 (0.3%)
商工費	3億5,881万円 (1.6%)
災害復旧費	2億5,006万円 (1.1%)
諸支出金	1,697万円 (0.1%)
予備費	1,000万円 (0.0%)

特別会計
149億1,108万円
(前年度比 23.6%減)

(増減は対前年度比%)

会 計 名	予算額	増 減
国民健康保険(事業勘定)	39億6,026万円	△ 7.4%
国民健康保険(直診勘定)	1億1,609万円	22.7%
国民健康保険成羽病院事業	17億249万円	1.4%
へき地診療所	837万円	△ 64.3%
老人保健	5億7,093万円	△ 90.0%
後期高齢者医療	4億7,750万円	皆増
介護保険(事業勘定)	36億9,741万円	5.4%
介護保険(サービス勘定)	7,891万円	△ 41.5%
養護老人ホーム	2億5,510万円	4.3%
特別養護老人ホーム	2億4,204万円	7.5%
軽費老人ホーム	5,389万円	34.3%
住宅新築資金等貸付事業	1,070万円	△ 20.1%
農業振興施設事業	3,646万円	97.3%
畑地かんがい事業	1,867万円	3.1%
水道事業	5億8,550万円	△ 15.0%
簡易水道事業	14億4,910万円	18.8%
下水道事業	15億9,926万円	14.6%
浄化槽事業	4,096万円	3.5%
地域開発事業	269万円	△ 98.7%
巨瀬財産区	280万円	△ 1.0%
宇治財産区	121万円	△ 23.6%
有漢財産区	74万円	△ 5.5%



の充実を図ります。

商工業の振興では、地場産業育成のための金融支援や新規就職者の激励事業を行います。

観光振興では、備中松山城への乗合タクシー、吹屋ふるさと村への周遊観光バスの運行、産学官連携の学習観光など、観光資源の有効活用による観光客誘致の促進に努めるほか、本市での山城サミット開催によって交流の促進を図ります。また、観光施設整備として神原荘の客室の改修や、うかん常山公園に常

設の舞台を設置します。

地域の情報化を推進するために、川上・備中地域のケーブルテレビ網整備に向けた実施設計を行います。

道路・交通網の整備では、市道改良事業については、合併特例事業や道路整備交付金等の制度事業の取り組みによる改良を計画的に行います。また、都市計画事業については、19年度に認可された都市計画街路南町近似線と高梁駅松連寺線の事業に着手するとともに、備中高梁駅